

第67期 中間報告書

平成24年12月1日～平成25年5月31日



マルカキカイ 株式会社

日本・米州・中国・東南アジアの4極を結集し、 真のグローバル企業を目指します。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

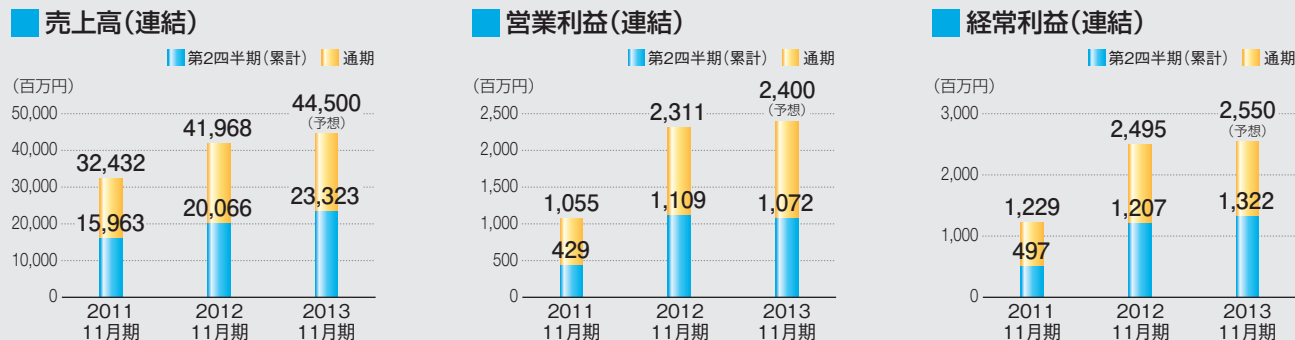
さて、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融・経済対策の効果の期待感から、円安・株高基調により、緩やかな景気回復の兆しが見られました。アジア経済は底堅く推移いたしました。中国経済は減速傾向が強まりました。一方、アメリカ経済は、雇用や住宅問題の改善などを背景に、緩やかな回復基調でありました。

このような状況の中で、当社グループは、日米中亜の4極体制の力を結集し、真のグローバル企業を目指すべく、各国間取引の拡大、海外商品の発掘、海外サービスの充実を推し進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23,323百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は1,072百万円（同3.3%減）、経常利益は1,322百万円（同9.5%増）、四半期純利益は730百万円（同17.8%増）となりました。

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS



当社グループの営業戦略は、日本・米州・中国・東南アジアの4極体制を構築することで、真のグローバル企業を目指すことであります。

当第2四半期連結累計期間においても、海外取引が拡大し、あらたにメキシコ市場が加わり、海外売上高は全体の60%に達します。

産業機械部門は、さらに海外取引を拡大させ、新設したグローバル機材本部と歩調を合わせ、機械設備をはじめ部品や消耗品の取り扱いを拡大させてまいります。また、東南アジアにおいてサービス事業を充実させ、安心して機械設備をお客様にご購入いただけるよう推進してまいります。

建設機械部門は、国内の建設工事需要が高まる中、主力商品のクレーン販売を拡大させ、東南アジアで

の建設機械販売の拡大も目指してまいります。

当社は今年上場15周年を迎え、2016年に創立70周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、お取引先様各位の永年のご支援・ご愛顧の賜と感謝申し上げます。株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

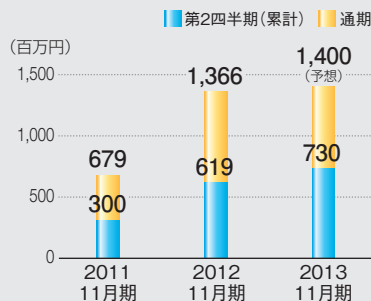


取締役会長 釜江 信次

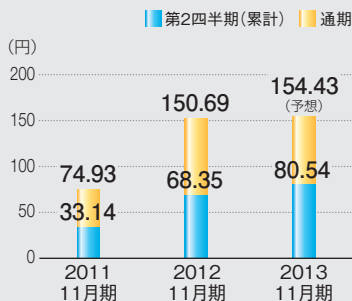


取締役社長 竹下 敏章

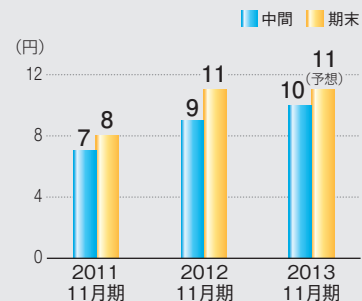
■ 四半期(当期)純利益(連結)



■ 1株当たり四半期(当期)純利益(連結)



■ 1株当たり配当実績および予想



部門別の概況

OPERATING RESULTS

産業機械部門

産業機械部門では、前期におけるタイの洪水復興特需の反動もありましたが、自動車業界向けが好調に推移した結果、売上高は増加いたしました。また、前期に買収しましたITI社の業績も好調でありました。営業利益におきましては、営業部門の増員等で人件費が増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は19,804百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は1,296百万円（同5.2%減）となりました。



建設機械部門

建設機械部門の環境は依然として厳しい状況ではありますが、第1四半期に引き続き、基礎業界向けにクレーン・基礎機械の販売が堅調でありました。

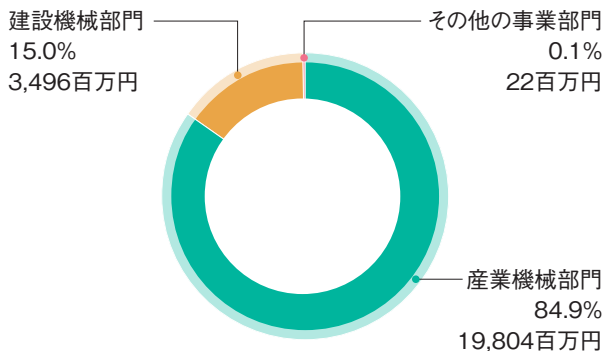
この結果、当部門の売上高は3,496百万円（前年同期比48.0%増）、営業利益は160百万円（同46.6%増）となりました。



その他の事業部門

当部門は、保険部門の業績を示しております。
当部門の売上高は22百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は10百万円（同93.0%増）となりました。

売上高構成比(連結)



MM会(マルカメーカー会)にあらたに3社が加入し18社に。

産業機械のMM会(マルカメーカー会)は、専門分野で優秀な技術を持ったメーカーが協力し、販売並びに新商品の共同開発を目的とした会です。

このたび、あらたに3社が加入し、会員社数18社となりました。MM会企業の優秀な商品を全世界に提供してまいります。

MM会会員社名(順不同)

(株)大鋳、大峰工業(株)、(株)管製作所、(株)光栄製作所、(株)コスモテック、先生精機(株)、千代田工業(株)、富士エンジニアリング(株)、(株)ユーテック、三愛エコシステム(株)、(株)紀和マシナリー、高橋金属(株)、(株)富士精機販売、PT.PAMINDO TIGA T、ソノルカエンジニアリング(株)

新規入会

(株)大進工業研究所、(株)ナイキシステム、ターゲット・エンジニアリング(株)

海外取引が拡大しています(新商品、新市場)。

昨年10月にマルカアメリカ社が買収したエンジニアリング会社のITI社は、北米の自動車業界向けに着実に受注を伸ばし、エンジニアリング事業としての買収効果を発揮しています。

一方昨年10月にメキシコ現地法人設立後、順調にメキシコ市場の自動車業界向けに売上を伸ばしています。この第2四半期では、約7億円の売上があり、2013年度のメキシコ市場向け売上高は14億円を計画しています。

インドネシアでサービス体制を充実させます。

インドネシアにおいて、来年1月にサービス工場を新設し、保全・サービス・メンテナンスの体制を整えてまいります。海外においてサービス事業を充実させていくことは、お客様に安心して設備をご購入して頂く重要な戦略の一つであり、機械設備の販売だけでなく、保全、メンテナンスやエンジニアリング提案など、お客様の幅広いニーズに、素早く対応してまいります。

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	前期末 平成24年11月30日 現在	当第2四半期末 平成25年5月31日 現在
資産の部		
流動資産	21,565	22,116
固定資産	6,609	6,923
有形固定資産	4,182	4,301
無形固定資産	430	455
投資その他の資産	1,996	2,166
資産合計	28,174	29,040
負債の部		
流動負債	13,699	13,223
固定負債	608	726
負債合計	14,308	13,950
純資産の部		
株主資本	13,707	14,337
資本金	1,414	1,414
資本剰余金	1,300	1,300
利益剰余金	11,204	11,834
自己株式	△ 211	△ 211
その他の包括利益累計額	△ 232	250
その他有価証券評価差額金	79	218
土地再評価差額金	299	299
為替換算調整勘定	△ 610	△ 267
少数株主持分	391	502
純資産合計	13,866	15,089
負債純資産合計	28,174	29,040

■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成23年12月1日 至平成24年5月31日	当第2四半期(累計) 自平成24年12月1日 至平成25年5月31日
売上高	20,066	23,323
売上原価	17,103	20,073
売上総利益	2,962	3,250
割賦販売未実現利益戻入額	14	13
割賦販売未実現利益繰入額	7	19
差引売上総利益	2,969	3,244
販売費及び一般管理費	1,859	2,171
営業利益	1,109	1,072
営業外収益	130	288
営業外費用	32	38
経常利益	1,207	1,322
特別利益	15	3
特別損失	3	0
税金等調整前四半期純利益	1,219	1,324
法人税、住民税及び事業税	580	561
少数株主損益調整前四半期純利益	639	763
少数株主利益	19	33
四半期純利益	619	730

株式の状況 & 会社概要

STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

株式の状況 (平成25年5月31日現在)

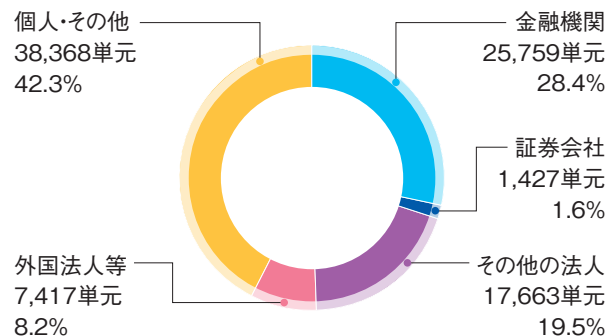
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	5,816名
単元株式数	100株

大株主(上位10名)の状況 (平成25年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコクレーン株式会社	594,000	6.6
株式会社不二越	576,000	6.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	550,000	6.1
株式会社りそな銀行	396,000	4.4
株式会社みずほ銀行	372,000	4.1
マルカキカイ従業員持株会	321,639	3.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	288,000	3.2
乾 孝 義	261,900	2.9
若 山 永 太 郎	212,300	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	201,500	2.2

(注) 持株比率は自己株式(262,359株)を控除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10名から除いております。

所有者別株式分布状況 (平成25年5月31日現在)



会社概要 (平成25年5月31日現在)

商 号	マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設 立	昭和21年(1946年)12月16日
本社所在地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ http://www.maruka.co.jp/

主な事業内容 機械専門商社として産業機械、建設機械の国内販売および輸出入

資 本 金 14億1,441万円

従 業 員 数 連結 465名、単独 175名

役員 (平成25年5月31日現在)

代表取締役会長	釜 江 信 次
代表取締役社長	竹 下 敏 章
取締役兼執行役員	真 鍋 聡 一
取締役兼執行役員	諸 富 秀 一
取締役兼執行役員	難 波 経 久
取締役兼執行役員	吉 儀 裕 之
取締役兼執行役員	二 橋 春 久
取締役兼執行役員	飯 田 邦 彦
※ 取締役	湯 村 幸 次
※ 相談役	乾 孝 義
※ 常勤監査役	森 康 明
※ 常勤監査役	有 山 晃 一
※ 監査役	柴 功 安
※ 監査役	長 崎 伸 郎
※ 常務執行役員	安 田 洋 祐
執行役員	太 田 稔 夫
執行役員	三 好 辰 夫
執行役員	荻 野 純 一

上記※印は、社外取締役および社外監査役であります。

株主メモ

- 事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
- 期末配当受領株主確定日 11月30日
- 中間配当受領株主確定日 5月31日
- 定時株主総会 2月
- 基準日 定時株主総会については 11月30日
(その他必要あるときは予め公告する一定の日。)
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(兼 特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(兼 特別口座の口座管理機関連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 各種お問合せ 電話 ☎ 0120-094-777
※証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。
※特別口座に登録された株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。
手続用紙請求電話 ☎ 0120-244-479
(本店証券代行部)
☎ 0120-684-479
(大阪証券代行部)
インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<http://www.maruka.co.jp/>
なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部



マルカキカイ 株式会社

<http://www.maruka.co.jp/>